

KENWOOD

デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-05MD

デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-05MDB

デュアルサイズCD/カセットレシーバー

DPX-04

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

SRS (●)
WOW

Mini
Disc

MDLP MD GROUP

© B64-2859-00/02 (J) (TKR)

Functional Operation

ソースセクション

時刻調整

CD/MD/Changer モード

Tape モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

Function

EZ Operation

? Operation

? MD Group

? Word

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDとカセットテープの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

CD、MD、カセットテープ、FM/AM放送、交通情報の聴き方…12

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help? Operation	46
Help? MD Group	53
Help? Word	54

取り付け方法など

付 録

取り付け時のご注意	60
接続	62
取り付け	64
保証とアフターサービス	65
仕様一覧	66

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセクション	16
ソース選択	
時刻調整	18
時刻合わせ	
CD/MD/Changer モード	20
トラックサーチ	
ディスクサーチ/グループサーチ	
マニュアルサーチ	
リピートプレイ	
ポーズ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
グループランダムプレイ	
スキャンプレイ	
タイトル/テキストスクロール	
グループセレクト	
Tape モード	24
早送り/巻戻し	
プログラム	
リピートプレイ	
DPSS	
インデックススキャンプレイ	
ブランクスキップ	
ドルビーB NRシステム	
テープポジションセクター	
TUNER モード	26
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
Name Set	28
DNPS (ディスクネームプリセット) /	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
AUXネームセレクト	
ディスプレイコントロール	30
ディスプレイ表示切り替え	
ムービーの切り替え	
イルミカラーコントロール	
イルミユーザーカラー設定	

オーディオコントロール	34
オーディオコントロール	
サブウーファー出力	
SRS WOWセレクト	
SRS WOWの調整	
イコライザーコントロール	38
イコライザーカーブの呼び出し	
イコライザーイージーの調整	
イコライザープロの調整	
イコライザープロメモリー	
Function	42
ファンクションセット	
セキュリティーコード	

- ソースセレクション
- 時刻調整
- CD/MD/Changer モード
- Tape モード
- TUNER モード
- Name Set
- ディスプレイコントロール
- オーディオコントロール
- イコライザーコントロール
- Function

WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。
 WOWはSRS Labs,Incからのライセンスに基づき製品化されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
 Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーション
 の米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

Help

? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? MD Group グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。

? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



テープの操作

テープをプレイする操作を表しています。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。



1秒以上押す

1秒以上（または2秒以上）
押し操作を表します。



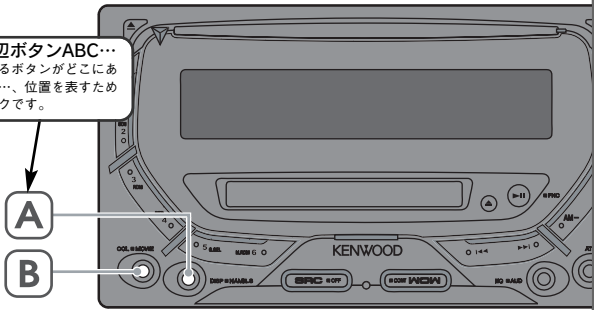
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。上記では1秒間押すことを示しています。また、メモリーに書き込むときなどは2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



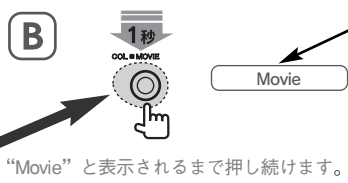
この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。



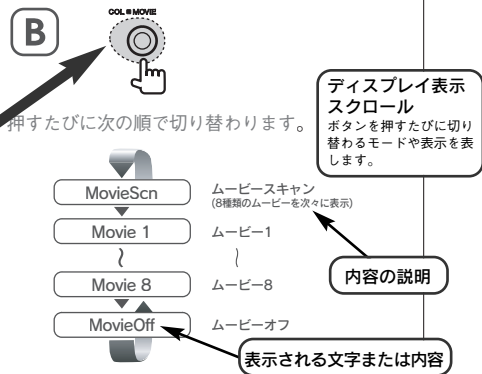
ムービーの切り替え

ムービー表示を切り替えます。

1 ムービー選択モードにします



2 ムービーを選択します



ムービーの切り替えは、STANDBYモード以外のモード中に設定できます。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

- ソースセレクション
- 時刻調整
- CD/MD/Changer モード
- Tape モード
- TUNER モード
- Name Set
- ディスプレイコントロール
- オーディオコントロール
- イコライザーコントロール
- Function

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

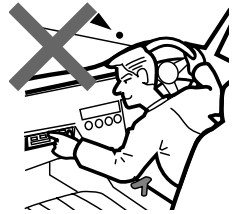
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

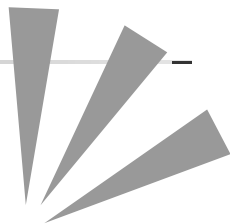
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やカセットの挿入・取り出しなど）



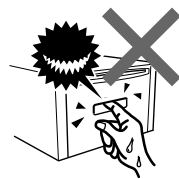
実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意



禁止

ディスク挿入口やカセットテープ挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

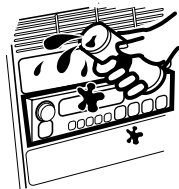


実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

本機のDNPS機能は本機内部の記憶機能に10枚まで記憶することができます。また、CDチェンジャーに内蔵の記憶機能についてはCDチェンジャーにより異なりますのでCDチェンジャーの取扱説明書を参照してください。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機に使用するリモコンについて

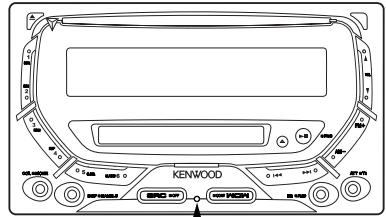
本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧ください。なるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたとき交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help」(46ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。


このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

特殊形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能なディスクは マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

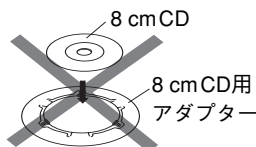
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

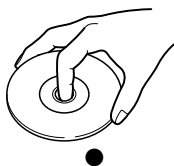
ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

CDとMDとカセットテープの取り扱い

CDの取り扱いについて

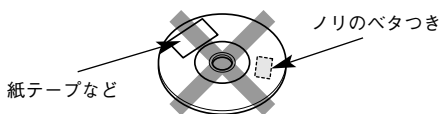
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメ
ディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テ
ープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルな
どのノリがはみ出したり、はがした痕があるもの
はお使いにならないでください。そのままCDプ
レーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

直射日光がある場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

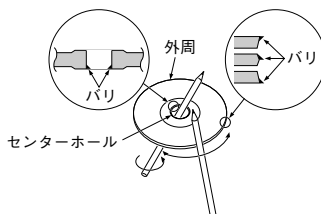
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出
して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケー
スに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に"バリ"がないことを確認してください。

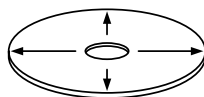
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用して
ください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ
て軽くふき取ってください。

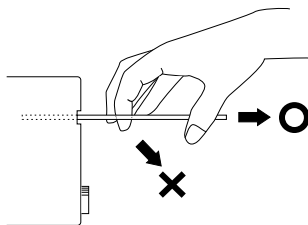
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出
してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。



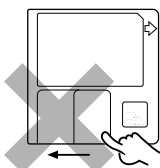
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

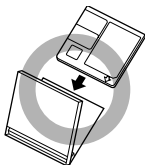
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



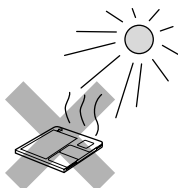
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



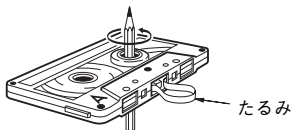
高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

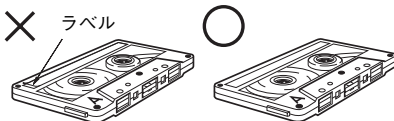


セットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

エンドレステープは使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店などで市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

EZ Operation (DPX-05MD/05MDB)



ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

注意



MDをプレイするときは…

プレイするMDを差し込みます。



- “MDLP” フォーマットで録音したMDもプレイすることができます。録音形式が “LP 2” の場合は MDLP 2 インジケータが点灯し、“LP 4” の場合は MDLP 4 インジケータが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「Help? MD Group」(53ページ)をご覧ください。



CDをプレイするときは…

プレイするCDを差し込みます。

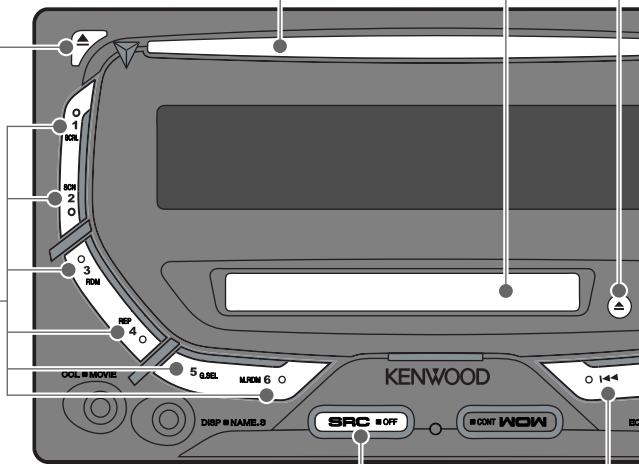


CDを取り出します。



メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、STANDBYに切り替わります。
MDが入っているときは インジケータが点灯し、CDが入っているときは インジケータが点灯します。(16ページ)



プレイする曲を選びます。

押すたびに、次の曲または現在演奏中の曲の先頭/前の曲になります。
押し続けると、早送り/早戻しができます。




受信する放送局を選びます。

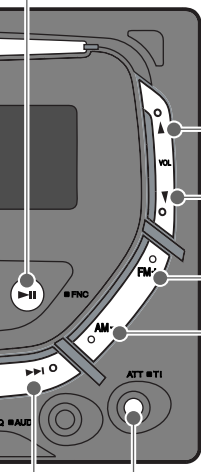
受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(26ページ)




交通情報の周波数 (1620KHz / 1629KHz / 522KHz) を切り替えます。



 **MDを取り出します。**



 **演奏を一時停止します。**
もう一度押すとプレイします。




 **音量を上げます。**


 **音量を下げます。**

 **FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。**
 **次のMDグループを選びます。**

 **AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。**
 **前のMDグループを選びます。**

 **音量を素早く下げます。**
もう一度押すと元の音量に戻ります。
アッテネーターが入っているときは、ATTインジケータが点滅します。

- 音量を上げるとアッテネーターが解除されます。

 **1秒以上押すと、交通情報を受信します。**
もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。

- 交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。

- ソースセレクション
- 時刻調整
- CD/MD/Changer モード
- Tape モード
- TUNER モード
- Name Set
- ディスプレイコントロール
- オーディオコントロール
- イコライザーコントロール
- Function

EZ Operation (DPX-04)



ディスクとテープのプレイは簡単！ ディスクまたはテープを差し込むだけです。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。



CDを取り出します。



メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押し、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



電源をオン/オフします。

押しと電源がオンになります。
1秒以上押しと、電源がオフになります。



カセットテープ/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

カセットテープ/ディスクが入っているときに押しと、FM/AM放送、TAPE、CD、STANDBYに切り替わります。

カセットテープが入っているときは インジケーターが点灯し、CDが入っているときは インジケーターが点灯します。(17ページ)



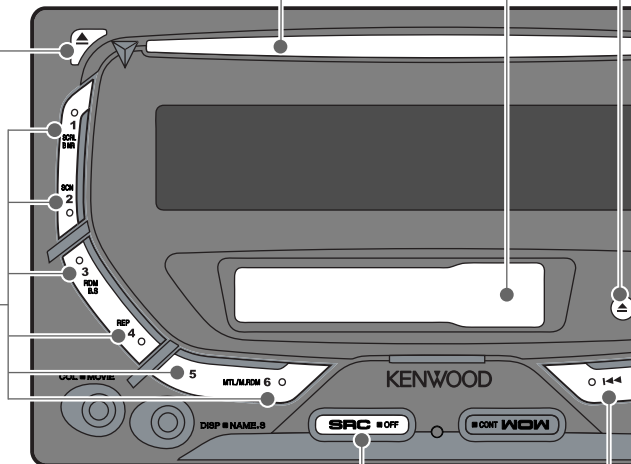
カセットテープをプレイするときは…

プレイするカセットテープを差し込みます。



CDをプレイするときは…

プレイするCDを差し込みます。



プレイする曲を選びます。

押すたびに、次の曲または現在演奏中の曲の先頭/前の曲になります。
押し続けると、早送り/早戻しができます。



受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するにもできます。(26ページ)



交通情報の周波数 (1620KHz / 1629KHz / 522KHz) を切り替えます。



テープの操作



チューナーの操作



共通の操作



カセットテープを取り出します。



演奏中のカセットテープの再生方向を切り替えます。
CDの演奏を一時停止します。(もう一度押すとプレイを再開します)



音量を上げます。



音量を下げます。



FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。



カセットテープを早送りします。



AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



カセットテープを巻戻します。



音量を素早く下げます。

もう一度押すと元の音量に戻ります。
アッテネーターが入っているときは、ATTインジケータが点滅します。



音量を上げるとアッテネーターが解除されます。



1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。

ソースセレクション

時刻調整

CD/MD/Changer モード

Tape モード

TUNER モード

Name Set

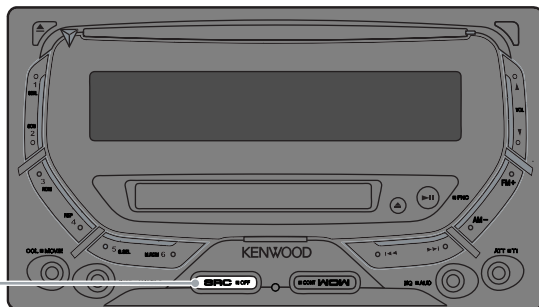
ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

Function

ソースセレクション



A

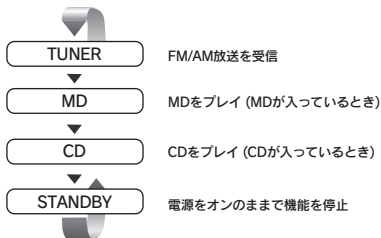
ソース選択 (DPX-05MD/05MDB)

プレイするソースを切り替えます。

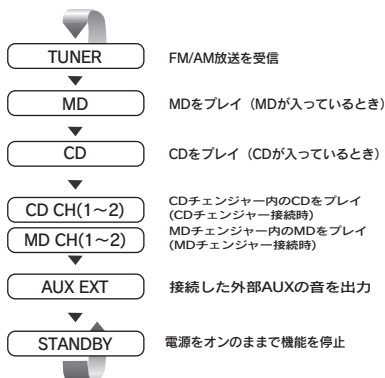
A



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
 “CD CH(1~2)”：CDチェンジャー
 “MD CH(1~2)”：MDチェンジャー
 “DISC CH(1~2)”：ディスクチェンジャー
 “CD2”：CDプレーヤー
- 別売品のCA-C1AXIに入力したAUXソースは、“DISC CH”表示を選択します。
 (確定後に“AUX EXT”表示になります)

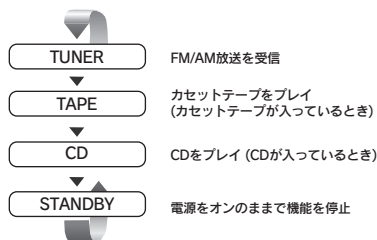
プレイするソースを選びます。

ソース選択 (DPX-04)

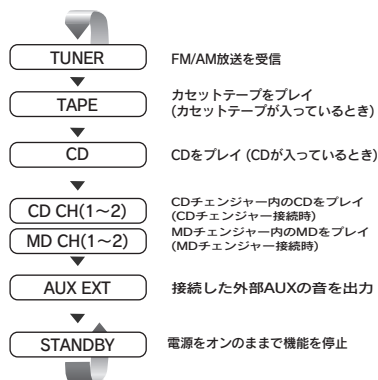
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

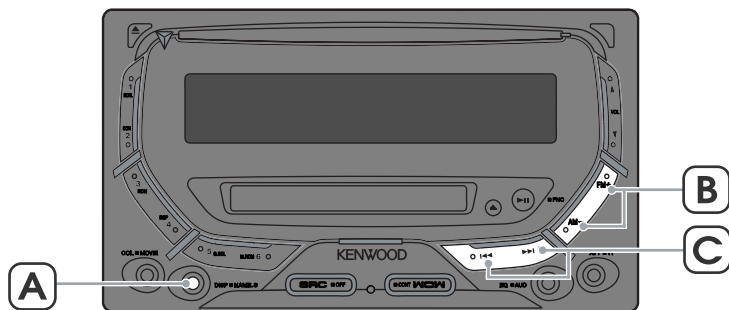


別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
 “CD CH(1~2)”：CDチェンジャー
 “MD CH(1~2)”：MDチェンジャー
 “DISC CH(1~2)”：ディスクチェンジャー
 “CD2”：CDプレーヤー
- 別売品のCA-C1AXに入力したAUXソースは、“DISC CH”表示を選択します。
 (確定後に“AUX EXT”表示になります)

時刻調整



時刻合わせ

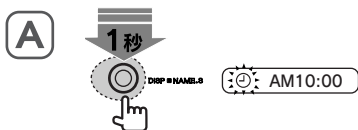
時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます



- 時計表示のしかたは、「ディスプレイ表示切り替え」(30ページ)を参照してください。

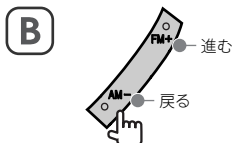
2 時刻合わせを開始します



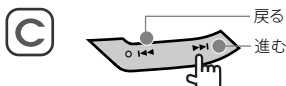
⊖表示が点滅するまで押し続けます。

3 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる



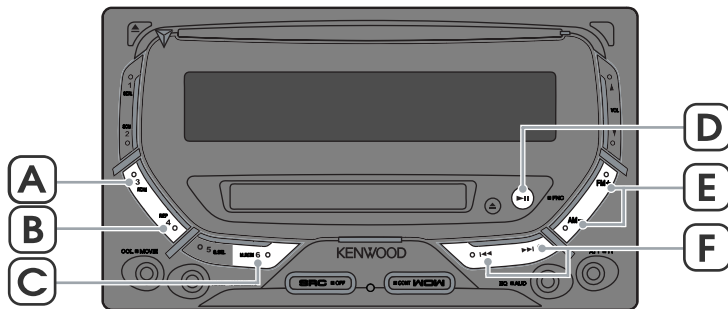
4 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

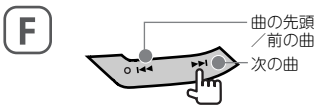
時計表示の時刻調整をします。

CD/MD/Changerモード



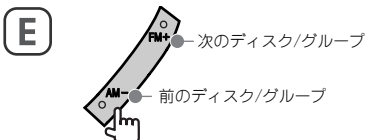
トラックサーチ

順に曲を選びます。



ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)/ グループサーチ(グループ登録済みMDのみ) (DPX-05MD/05MDBのみ)

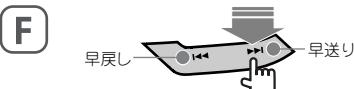
プレイするディスクやグループを選択します。



❗ “10” 番目のディスクおよびグループ番号は “0” と表示されます。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



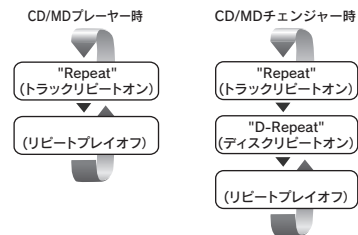
ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返してプレイします。



押すたびに、次の通りにオン/オフします。



グループ登録済みMD時
(DPX-05MD/05MDBのみ)



トラックリピート/グループリピートオン中はREPインジケーターが点灯します。ディスクリピートオン中はD.REPインジケーターが点灯します。

❗ * “G-Repeat” は「ファンクションセット」(42ページ)で“Group”項目が“On”のときに選択できます。

CDやMDまたは別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDとMDの聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



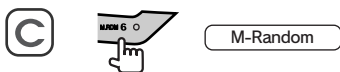
押すたびに、ランダムプレイがオン/オフします。ランダムプレイ中は**RDM**インジケーターが点灯します。

💡 ➡ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフします。

マガジンランダムプレイがオンのときは**M.RDM**インジケーターが点灯します。

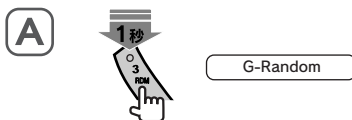
💡 ➡ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

グループランダムプレイ

(グループ登録済みMDのみ)

(DPX-05MD/05MDBのみ)

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

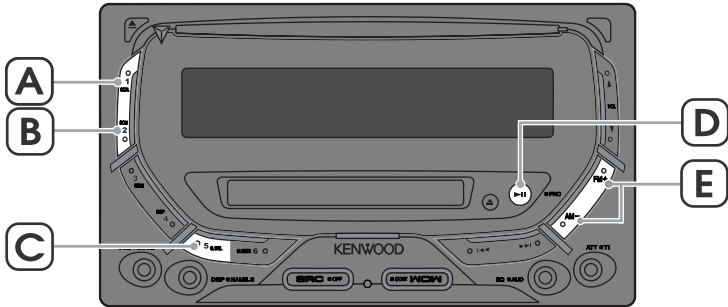


押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。

グループランダムプレイ中は**RDM**インジケーターが点灯します。

💡 ➡ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

CD/MD/Changerモード



● スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します

B



Scan

スキャンプレイ中は**SCN**インジケーターが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…

B



その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

● タイトル/テキストスクロール

(MDまたはディスクチェンジャーのみ)

ディスプレイのタイトル/テキスト表示をスクロール設定が“SCL Auto”のときにスクロールさせます。(43ページ)

1 タイトル/テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(30ページ)を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

2 スクロールします

A



表示中のディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが1回スクロールします。

- 「ファンクションセット」(42ページ)の“SCL”項目が“Auto”になっているときに上記の操作を行うと、タイトル/テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール選択の方法は、「ファンクションセット」(42ページ)を参照してください。
- スクロール可能なタイトル/テキストは、ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストおよびグループネームです。
- スクロールの詳しい機能は「Help? Word」(54ページ)の「SCL」を参照してください。

グループセレクト

(グループ登録済みMDのみ)
(DPX-05MD/05MDBのみ)

聴きたい曲が入っているグループを、グループ表示で選択します。

1 グループセレクトモードにします



G.Select

ディスプレイに以下の表示がされて、1グループから表示します。

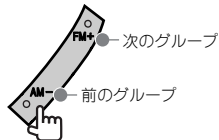
グループネーム表示
グループネームを表示します。



グループナンバー表示
グループナンバーを表示します。

● “10” 番目以降のグループ番号は、下1桁が表示されます。

2 グループを選びます



押すたびに、次のグループ/前のグループへと移動します。

3 聴きたい曲が入っているグループで…

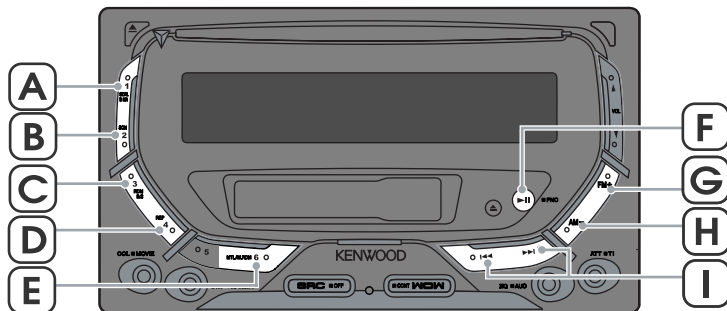


グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



Tapeモード (DPX-04)



● 早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り



FF

巻戻し



REW

早送り／巻戻しを解除するには



プログラム

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



Forward

Reverse

押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

● リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



Repeat

押すたびに、リピートプレイがオン／オフします。リピートプレイがオンのときは、REPインジケータが点灯します。



リピートプレイ、DPSS、インデックススキャンプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



DPSS+1 次の曲

DPSS-0 曲の先頭

DPSS-1 前の曲

連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

途中で中止するときは



カセットテープをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なカセットテープの聴き方はEZ Operation (14ページ) をご覧ください。

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します

B



IDX SCAN

インデックススキャンプレイ中は、**SCN**インジケーターが点灯します。

2 聴きたい曲のところで…

B



その曲からプレイされます。

ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。

C



B.S On

押すたびに、ブランクスキップがオン/オフします。ブランクスキップがオンのときは、**BS**インジケーターが点灯します。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン/オフします。

A



B NR On

押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン/オフします。ドルビーB NRシステムを使用しているテープをプレイするときは、オンにします。ドルビーB NRシステムがオンのときは、**B NR**インジケーターが点灯します。

テープポジションセレクター

テープポジションのメタルのオン/オフをします。

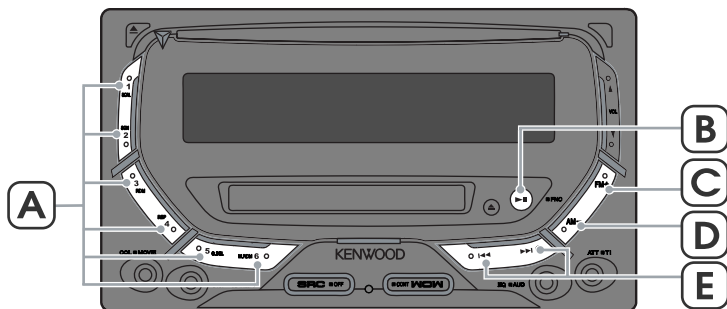
E



MTL On

押すたびに、メタルポジションセレクターがオン/オフします。なお、メタルテープ(Type IV)、フェリクロムテープ(Type III)、およびクロムテープ(Type II)をプレイするときは、オンにします。メタルポジションセレクターがオンのときは、**MTL**インジケーターが点灯します。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto 1”のとき (AUTO 1インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto 2”のとき (AUTO 2インジケータが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。

チューニングモードが“Manual”のとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- 各チューニングモードは「ファンクションセット」(42ページ)の“Auto/Manual”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
- FMステレオ放送の受信状態が悪く聞き辛い場合は「ファンクションセット」(42ページ)の“MONO”項目でモノラル音声に切り替えることで聞き易くなる場合があります。また、モノラル音声に切り替えると、mc インジケータが点灯します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

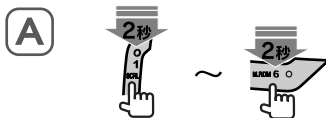
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするナンバー(1~6のいずれか)を選択します



F1 90.0

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation（12ページまたは14ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

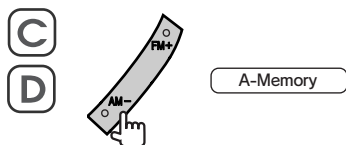
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします

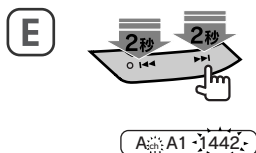


“Function”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

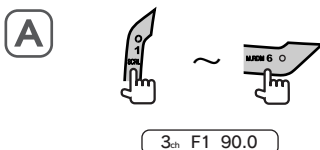
プリセットチューニング

メモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

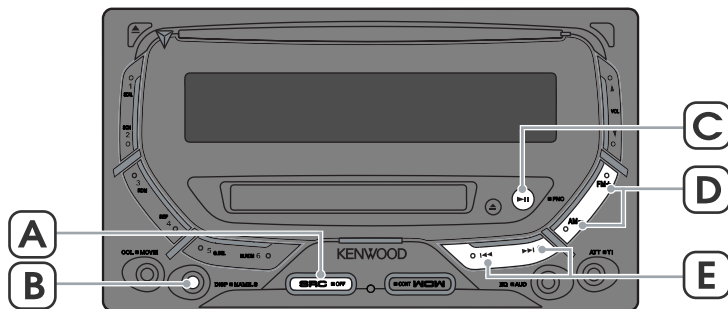
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーされているナンバー(1~6)を選択します



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

Name Set

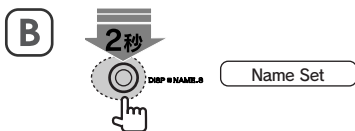


DNPS (ディスク名前プリセット) / **SNPS** (ステーション名前プリセット)
 CDやFM/AM放送局に名前を付けます。
 FM/AM放送局には30局までステーション名前をセットできます。
 また、本機CDプレーヤーには10枚までディスク名前をセットできます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

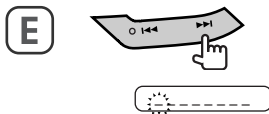
- 時計表示中または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイ中はDNPS/SNPSは行えません。時計表示または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- MDには名前は付けられません。

2 ネームセットモードにします



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



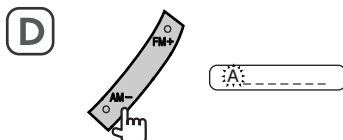
押すたびに次の順で切り替わります。

英大文字/数字/記号

英小文字/数字/記号

カタカナ/数字/記号

5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 ネームセットモードを終了します



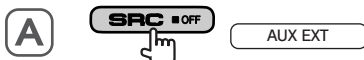
FM/AM放送局や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されません。
- ディスクネームをセットできるディスクの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。くわしくはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～6の操作により変更できます。

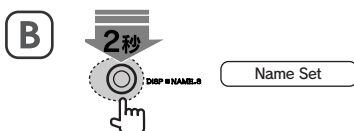
AUXネームセレクト (KCA-S210A接続時のみ)

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXモードにします



2 ネームセットモードにします

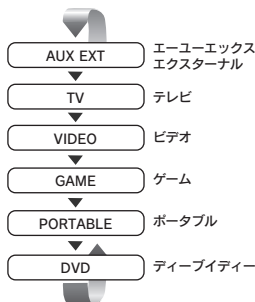


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



以下のように切り替わります。

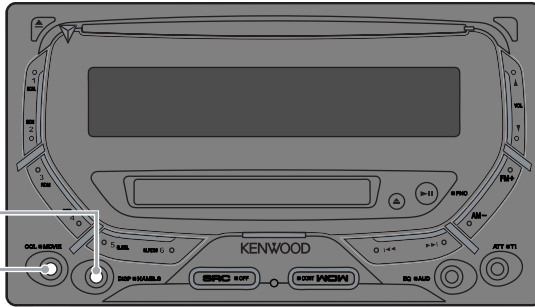


4 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機を外すと、AUXネームは“AUX EXT”に戻ります。

ディスプレイコントロール

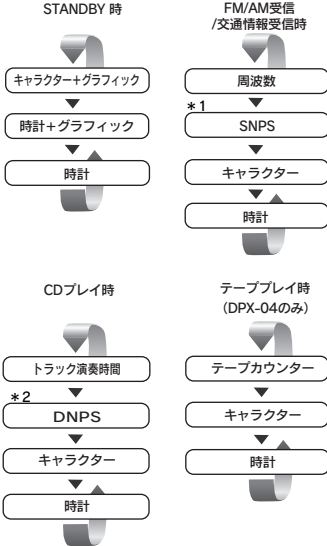


ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



MDプレイ時 (DPX-05MD/05MDBのみ)

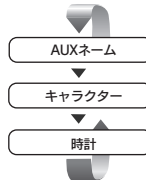


CD-CH/MD-CHプレイ時



対応機種を
接続時のみ

AUX EXT時



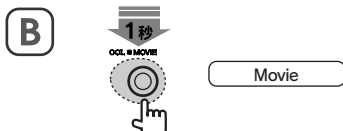
- *1 SNPSが登録されていないと周波数が表示されません。
- *2 DNPSが登録されていないと“No Name”が表示されます。
- *3 ディスクタイトル/グループネーム/トラックタイトルが登録されていないと演奏時間が表示されます。

ディスプレイに表示する情報やカラーなどの設定をします。

ムービーの切り替え

ムービー表示を切り替えます。

1 ムービー選択モードにします

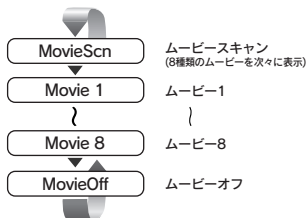


“Movie” と表示されるまで押し続けます。

2 ムービーを選択します

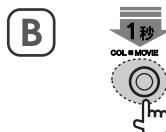


押すたびに次の順で切り替わります。



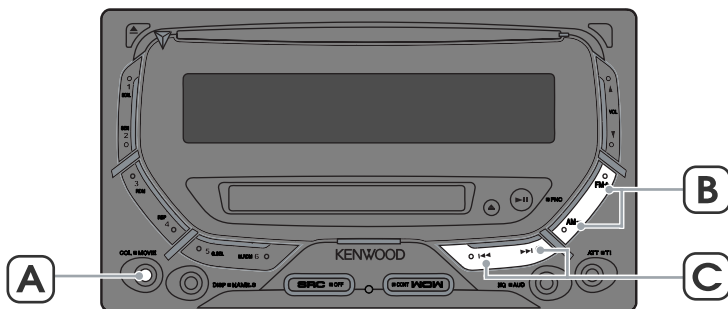
- ムービーの切り替えは、STANDBYモード以外のモード中に設定できます。

3 ムービー選択モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

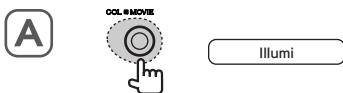
ディスプレイコントロール



イルミカラーコントロール

ディスプレイのイルミネーション色を設定します。

1 イルミコントロールモードにします



2 イルミネーション色を選択します

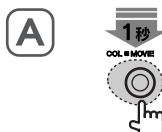


押すたびに次の順で切り替わります。

- “ユーザーカラー”は「イルミユーザーカラー設定」(次ページ)で調整した色が呼び出されます。



3 イルミコントロールモードを終了します

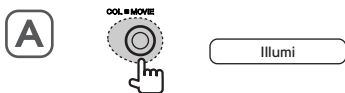


または、約10秒間以上、なにも操作しないで
おきます。

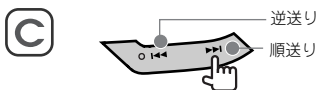
イルミユーザーカラー設定

ディスプレイ色を自由に調整します。

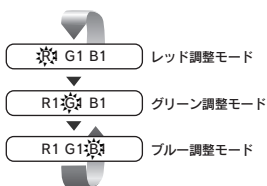
1 イルミコントロールモードに入ります



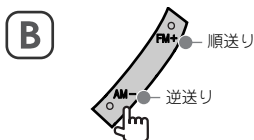
2 調整する色を選択します



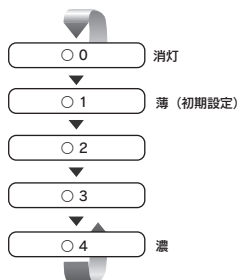
イルミネーション色がユーザーカラー設定になり、押すたびに次の順で切り替わります。



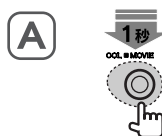
3 イルミネーション色を調整します



押すたびにそれぞれの色が、次のように切り替わります。

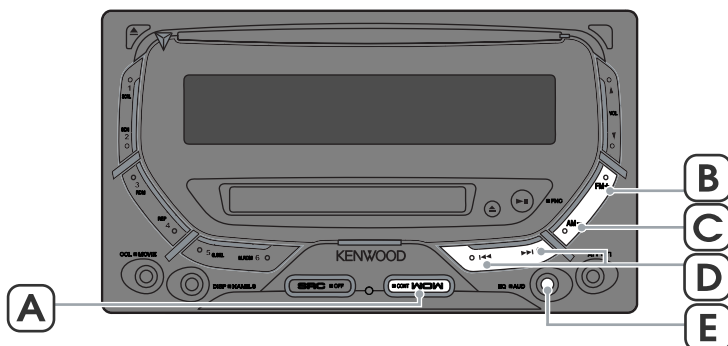


4 イルミコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。
「イルミカラーコントロール」(前ページ)で「ユーザーカラー」を選ぶと、ここで調整した色が呼び出されます。

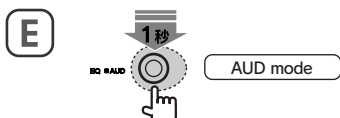
オーディオコントロール



オーディオコントロール

音量バランスを設定します。

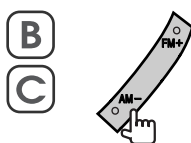
1 オーディオコントロールモードにします



“AUD mode”と表示されるまで押し続けます。

- オーディオコントロールはSTANDBYモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BAL (左右の音量レベル)	L15 ~ 00 ~ R15 [左] [右]
FAD (前後の音量レベル)	R15 ~ 00 ~ F15 [後] [前]
LPF* (ローパスフィルター) (DPX-05MD/05MDBのみ)	Through / 120 / 80 / 50 (Hz)
SubW (サブウーファ プリアウト出力レベル) (DPX-05MD/05MDBのみ)	-15 ~ 0 ~ 15
V-OFF* (ソース間のレベル差)	-8 ~ 0

(太字は初期設定値)

- *マークが付いた項目の詳細な機能については、「Help ?Word」(54ページ)をご覧ください。
- “LPE” および “SubW” 設定は「ファンクションセット」(42ページ)の“SWPRE”項目が“SW”に設定されているときに調整できます。
- “V-OFF”はSTANDBYモード以外のモード中に設定できます。

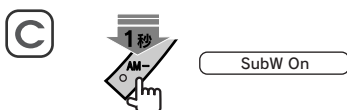
4 オーディオコントロールを終了します



音質バランスなどを調整します。

サブウーファー出力

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



押すたびにサブウーファー出力がオン/オフします。

- サブウーファー出力の設定は「ファンクションセット」(42ページ)の「SWPRE」項目が「SW」に設定されているときに選択できます。

SRS WOWセレクト

サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

1 SRS WOWセレクトを開始します

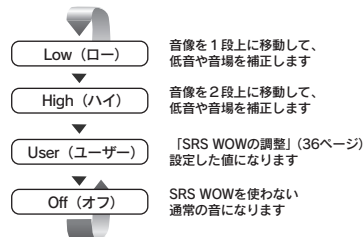


- WOWセレクトはSTANDBYモード以外のモード中に設定できます。

2 SRS WOWを選択します



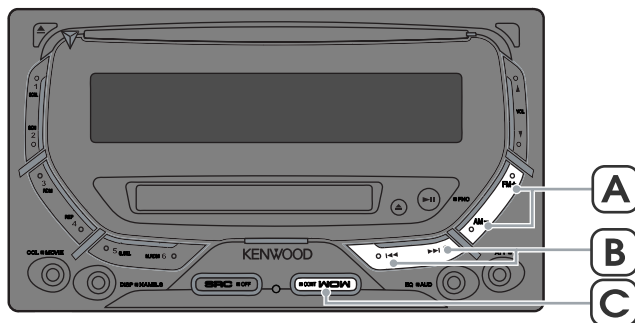
押すたびに次の順で切り替わります。



3秒間以上何も操作しないでおくと、SRS WOWセレクトを終了します。

- SRS WOWの詳細機能は、「Help ?Word」(54ページ)をご覧ください。

オーディオコントロール



SRS WOWの調整

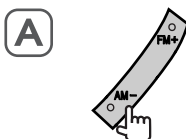
SRS WOWの各機能を個別に調整します。

1 WOWコントロールモードにします



“WOW CTRL”と表示されるまで押し続けます。

2 調整項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

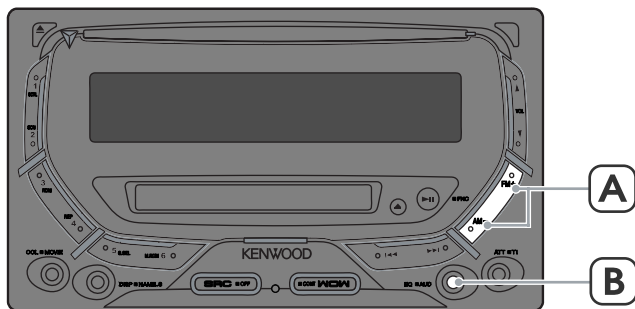
設定項目	設定値
FOCUS (音像の位置を2段階で上に移動し、輪郭を調節します)	0 (Off) / 1 (Low) / 2 (High)
TB (TruBass) (バランスのとれた低音を再現します)	On / Off
SRS (SRS 3D) (奥行き感のある音場にします)	On / Off

4 WOWコントロールモードを終了します



- SRS WOWの詳しい機能は、「Help ?Word」(54ページ)をご覧ください。
- “SRS”は、Tunerモード中または交通情報を受信中は設定できません。

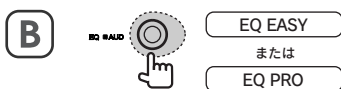
イコライザーコントロール



イコライザーカーブの呼び出し

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

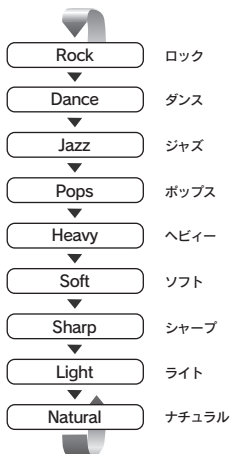
1 イコライザーコントロールモードに入ります



2 イコライザーカーブを選択します

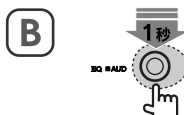


押すたびに次の順で切り替わります。



! “EQ PRO” に設定されているときは「イコライザープロの調整」(40ページ)で調整すると“User”と表示されます。

3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーイージーの調整が終了します。または、10秒間以上何も操作しないでいきます。

! イコライザーカーブは「イコライザーイージーの調整」(次ページ)や「イコライザープロの調整」(40ページ)で調整することができます。

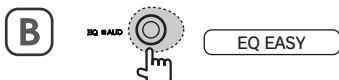
イコライザーカーブの設定や調整をします。

ファンクションセットの“EQモード”項目が“Easy”に設定されているときは、音質に強弱をつけることができ、“PRO”に設定されているときは、イコライザーカーブを調整することができます。

イコライザーイージーの調整

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

1 イコライザーイージーモードにします

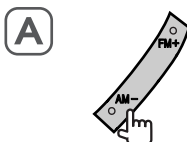


イコライザーイージーモードは、「ファンクションセット」(42ページ)の“EQ”項目が“EASY”に設定されている場合に行えます。

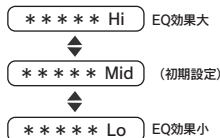
2 イコライザーカーブを選択します

「イコライザーカーブの呼び出し」(前ページ)の手順2を参照してイコライザーカーブを選択します。

3 イコライザーの音質効果を調整します

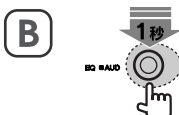


押すたびに次の順で切り替わります。
“****”はイコライザーカーブの“Rock”～“Light”が表示されます。



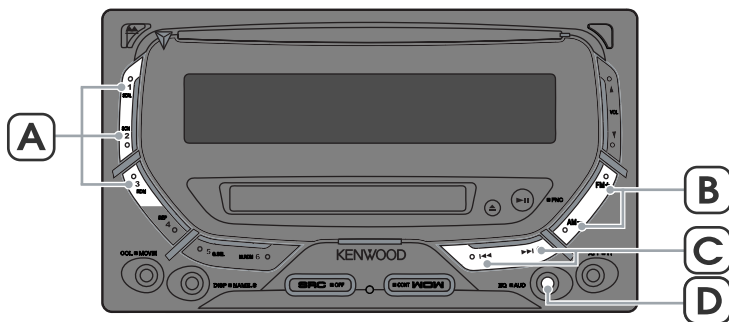
イコライザーカーブが“Natural”の場合、音質効果の調整はできません。

4 イコライザーイージーの調整を終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーイージーの調整が終了します。
または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

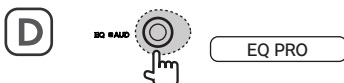
イコライザーコントロール



イコライザープロの調整

ジャンル別に設定された音質を好みの音質に調整します。

1 イコライザープロモードにします

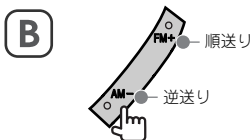


イコライザープロモードは、「ファンクションセット」(42ページ)の“EQ”項目が“PRO”に設定されている場合に行えます。

2 イコライザーカーブを選択します

「イコライザーカーブの呼び出し」(38ページ)の手順2を参照してイコライザーカーブを選択します。

3 音質効果の設定項目を選択します



4 音質効果の値を選択します

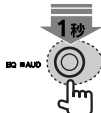


設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BasF* (低音中心周波数)	60/70/80/100 または150(Hz)
BasLV (低音レベル)	-12~+12
BasQ* (低音クオリティ ファクター)	1.0/1.25/1.5/2.0
EXT* (低音中心周波数伸張)	On/Off
MidF* (中低音中心周波数)	500/1.0k/1.5k /2.0k(Hz)
MidLV (中低音レベル)	-12~+12
MidQ* (中低音クオリティ ファクター)	1.0/2.0
TreF* (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0 /17.5(kHz)
TreLV (高音レベル)	-12~+12

5 イコライザープロの調整を終了します

D



1秒以上押し続けるとイコライザープロの調整が終了します。
または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

- *マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help ?Word」(54ページ)をご覧ください。
- 手順3～4で設定した値は、右ページの方法でメモリーしたり、呼び出すことができます。各設定項目を調整すると“User”と表示されます。
- BasQ（低音クオリティファクター）の設定値により、BasF（低音中心周波数）の設定可能な周波数が以下のように変わります。

BasQ 設定値	BasF 設定可能値
1.0/1.25/1.5	60/70/80/100(Hz)
2.0	60/70/80/150(Hz)

イコライザープロメモリー

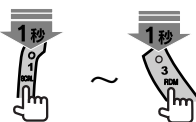
イコライザープロの設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

「イコライザープロの調整」(前ページ)を参照して手順1～手順4を行います。

2 メモリーするボタン (1～3のいずれか) を選びます

A



Memory 2

“Memory ○”と表示されるまで押し続けます。

イコライザープロを呼び出すときは

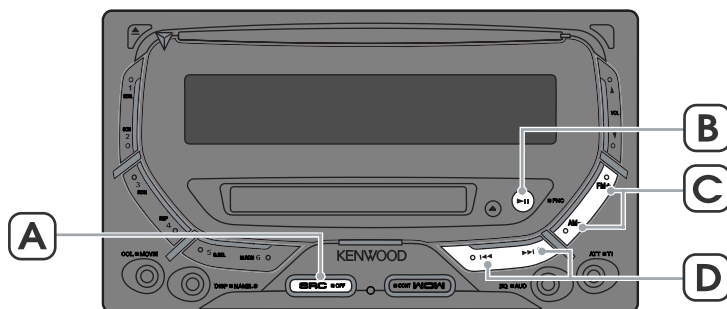
A



Memory 2

「イコライザープロの調整」(前ページ)の手順1のあとに押しすと、メモリーされているイコライザープロの音質効果が呼び出されます。

Function



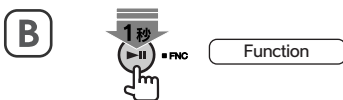
ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるモードにします

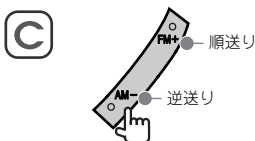


2 ファンクションセットモードにします



“Function” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

*マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help?Word」(54ページ)をご覧ください。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

STANDBYモード中のみ

設定項目	設定値
COL* (ディスプレイの カラーモード設定)	Sync / Fix
CONT* (ディスプレイの文字 のコントラスト調整)	1 ~ 6 ~ 11
BEEP* (ビープ音)	On / Off
SWPRE* (プリアウト出力選択) (DPX-05MD/05MDBのみ)	R / SW
Group* (MDグループ管理機能設定) (DPX-05MD/05MDBのみ)	On / Off
Open* (電源オン時の デモンストレーション表示)	On / Off
EQ* (イコライザーの調整モード 設定)	EASY / PRO
CODESTBY* (セキュリティコードの登録 モード)	登録の方法は44ページ をご覧ください。
NavM* (ナビ音声ガイド時の ミュート設定)	On / Off
AmpM* (内蔵アンプの出力設定) (DPX-05MD/05MDBのみ)	On / Off
S.I.* (盗難防止用警告ランプ設定)	On / Off

(太字は初期設定値)

本機の各種機能を設定します。

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
Auto/Manual* (チューニングモード)	Auto 1 / Auto 2 / Manual
MONO* (モノラル受信)	On / Off
A-Memory (オートメモリー)	操作の方法は27ページをご覧ください。

(太字は初期設定値)

- “MONO” 項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。

MD/CD-CH/MD-CHモード中のみ

設定項目	設定値
SCL* (タイトル/テキストオートスクロール)	Auto / Manu

(太字は初期設定値)

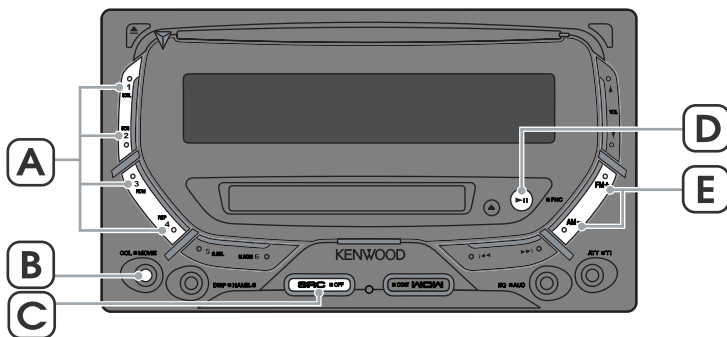
- 別売品のユニット (チェンジャーなど) では、テキスト機能に対応していないと設定できません。

5 ファンクションセットモードを終了します

B



Function

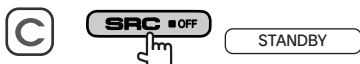


セキュリティコード

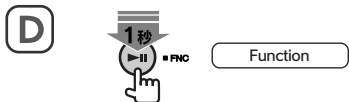
暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

● 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 STANDBYモードにします

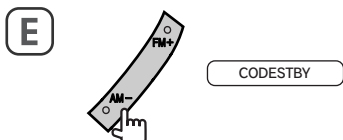


2 ファンクションセットモードにします

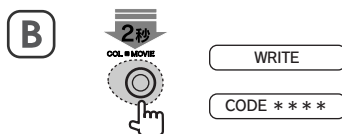


“Function” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

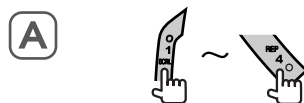


4 セキュリティコード入力を開始します



“WRITE” と表示されるまで押し続けます。

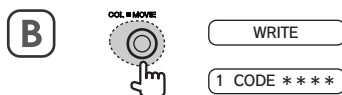
5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

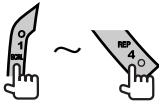
ボタン	REP 0	REP 1	REP 2	REP 3	REP 4
押す回数	4	6	2	1	
表示	3	5	1	0	

6 セキュリティコードを登録します



7 セキュリティコードを再入力します

A



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

8 セキュリティコードを再登録します

B



WRITE

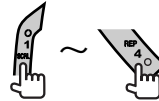
セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右項をご覧ください。

- 手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

A



2 セキュリティコードを確認します

B

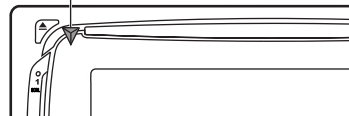


CODE OK!

本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び **RECALL STOP** を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I (セキュリティインジケター) 機能を採用しています。「ファンクションセット」(42ページ)の「S.I」項目を「On」にしておくと、ACCをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

セキュリティインジケター



電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- スピーカーケーブルがシャーシなどに接触している。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(62ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 「ファンクションセット」(42ページ)の“AmpM”項目が“On”に設定されている。
- フェダー (FAD) やバランス (BAL) を正しく調整してください。(34ページ)
- 「ファンクションセット」(42ページ)の“AmpM”項目を“Off”に設定してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

オーディオコントロールの“LPF”または“SubW”項目が表示されない

- 「ファンクションセット」(42ページ)の“SWPRE”項目が“R”に設定されている。
- 「ファンクションセット」(42ページ)の“SWPRE”項目を“SW”に設定してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

CD/MD/Changer mode

SRCボタンを押してもディスクに切り替わらない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付け直ししてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDとMDとカセットテープの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(8ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

CD/MD/Changer mode

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(22ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

文字がスクロールされない

- 表示部にすべての情報文字が表示されている。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はオートスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストおよびグループネームです。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-Nスイッチ”がない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を“O”にしている。
- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーに“O-Nスイッチ”が付いている場合は、“O-Nスイッチ”を“N”にしてください。

MD Group

MDグループ機能が働かない

- 「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。
- 「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”項目を“On”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。
- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けしないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

- 「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”項目を“Off”に設定している。
- “Group”項目を“Off”に設定時はグループ情報が表示されません。

ディスクタイトルが表示できない

- ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。
- ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

聴きたい曲が選択できない

- グループに登録されていない。
- 聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”項目を“Off”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

- 「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”項目の設定を行った。
- MDをプレイ中に「ファンクションセット」(42ページ)の“Group”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

Tape mode

カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットテープが変形している。
- 逆向きに入れようとした。

- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- カセットテープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、カセットテープに切り替わらない

カセットテープがセットされていない。

カセットテープをセットしてください。

カセットテープを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからカセットテープを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトボタンを押してください。

テープでDPSS、リピート、インデックススキャンできない、目的の位置で止まらない

曲間の無録音部分が短すぎる。

曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。

ブランクスキップをオフにしてください。(25ページ)

ブランクスキップされない

無録音部分の雑音が大きいです。

雑音が小さくなるように録音してください。

曲の先頭しかプレイしない

インデックススキャンプレイがオンになっている。

インデックススキャンプレイをオフにしてください。(25ページ)

音質が悪い

- テープポジションセレクターの設定が違っている。
- ドルビーB NRシステムの設定が違っている。

- プレイしているテープポジション(タイプ)を確認して、正しく設定してください。(25ページまたは54ページ)
- ドルビーB NRシステムを使用して録音したカセットテープか確認してください。(25ページ)

Function

ディマ-が機能しない

イルミネーションコードが接続されていない。

「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。

“CODESTBY” 項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Name Set

DNPSができない

- 接続したCDチェンジャーがDNPSに対応していない。
- MDをプレイしている。
- トラックスキャンがオンになっている。
- マガジンランダムがオンになっている。
- CDチェンジャーがDNPS機能に対応していないと使用できません。
- MDにDNPSはできません。
- トラックスキャンをオフにしてください。(22ページ)
- マガジンランダムをオフにしてください。(21ページ)

DNPS表示にしても“No Name”と表示される

DNPSが登録されていない。

DNPSを登録してください。(28ページ)

登録したはずのステーションネーム (SNPS) が消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネーム (DNPS) が消えた

- 本機に11枚目のディスクネームを登録した。または、CDチェンジャーの登録枚数を超えた。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機に登録できるディスクネームは10枚分です。CDチェンジャーの登録枚数はCDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスクネーム (DNPS) がまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

“No Disc” と表示される

ディスクマガジンにディスクが入っていない。

ディスクを入れてください。

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。

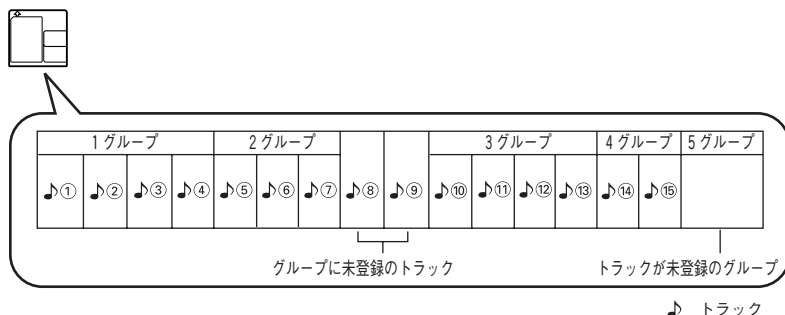
（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「ファンクションセット」（42ページ）の“Group”項目を“On”に設定しているときに使用できます。



- グループ管理機能を“On”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“Off”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・

現在のトラックNo.	ボタン操作		
♪⑥		♪⑥の先頭 ♪⑤ ♪④	♪⑦ ♪⑩ ♪⑪ ...

♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・

現在のグループNo.	ボタン操作		
3グループ		2グループ ♪ 1グループ・・・	4グループ ♪ 1グループ

グループセレクトを行うと・・・

現在のグループNo.	ボタン操作		
3グループ		2グループ ♪ 1グループ	4グループ

- どの曲を再生中でもグループセレクトを行うと、1グループ目からグループセレクトが開始されます。
- 上記の説明は、を2回押して3グループ目を選択したときの操作例を記載してあります。

共通

Dolby B NR

(ドルビー B ノイズ リダクション)

テープのノイズを軽減するための機能で、ドルビーラボラトリーズ社により統一された規格です。

ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープは、再生するときもドルビーB NRシステムを使用して再生します。

MDLP

(エムティ エルピイ)

MDの録音方式の規格です。

本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

テープポジション

カセットテープのテープ（磁性体）の種類は4種類があります。

テープの種類に合わせてテープポジションセレクターをOnかOffに設定してください。カセットテープの種類とテープポジションの設定は下記の通りです。
MTL On: メタルテープ(Type IV)、フェリクロムテープ(Type III)、およびクロムテープ(Type II)。

MTL Off: ノーマルテープ(Type I)

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など）、マルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

交通情報：TI

(トラフィックインフォメーション)

高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。MDやCDまたはカセットテープを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

オーディオコントロール

LPF

(ローパスフィルター)

サブウーファー出力から高音を削除することができます。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOWの効果は、「SRS WOWセレクト」(35ページ) または「SRS WOWの調整」(36ページ) で設定することができます。

FOCUS: 擬似的にスピーカーの位置を2段上“2”または1段上“1”を選択して音像の移動と輪郭を調節します。

TruBass: “On”に設定するとバランスのとれた重低音を再現することができます。

SRS 3D: “On”に設定すると奥行き感のある立体的な音場にすることができます。

SRS WOW: “FOCUS”、“TruBass”および“SRS 3D”の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	FOCUS	TruBass	SRS 3D
High	2	On	On
Low	1	On	On
Off	0	Off	Off

V-OFF

(ボリューム オフセット)

オーディオコントロールで“V-OFF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

イコライザーコントロール

BasF/MidF/TreF

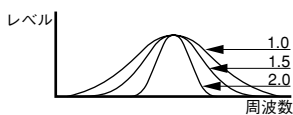
(バスフリケンシイ/ミドルフリケンシイ/
トレブルフリケンシイ)

低音、中音および高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

BasQ/MidQ

(バスクォリティーファクタ/
ミドルクォリティーファクタ)

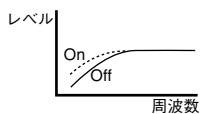
低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



EXT

(バスエクステンテッド)

この機能を“On”に設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



ファンクション

AmpM

(アンプ ミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“On”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

Auto/Manual

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

CODESTBY

(セキュリティ コード)

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

(操作方法は44ページをご覧ください)

COL

(バリアブルカラー)

ディスプレイのカラーモードを設定します。

Sync：ボリューム調節中、アッテネーターオン中にディスプレイの色が次々に変わります。

Fix：ディスプレイの色が設定した色に固定されます。

CONT

(コントラスト)

文字のコントラストを設定することができる機能です。

EQ

(イコライザー モード)

イコライザーモードには“EASY”と“PRO”の2つのモードがあり、使用したいモードを選択します。“EASY”モードは、ジャンル別に設定されたイコライザーカーブ（ロック、ポップス、ダンスなど）の選択と効果の強弱を調整できます。(39ページ)

“PRO”モードは、イコライザーカーブを選択する他に各設定項目を調整することができます。(40ページ)

Group

(エムティグループ)

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(53ページ) もご覧ください。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聴き易くなる場合があります。

NavM

(ナビ ミュート)

本機にナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能をオンにしておくと、現在聴いているソースの音量を一時的にも小さくし、ナビゲーションの音声を聴きやすくするものです。

Open

(オープンング)

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

SCL

(スクロール)

この機能を“Auto”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Manu”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

SWPRE

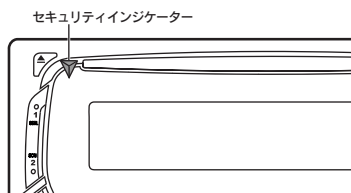
(サブウーファー プリアウト)

別売品のアンプを接続するための出力です。
サブウーファープリアウトをリアプリアウトに切り替えることができます。
サブウーファープリアウトはオーディオコントロールのフェダー調整に影響されない、サブウーファース用の出力に活用できます。

S.I

(セキュリティ インジケータ機能)




この機能を“On”にしておく、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。



無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : MDグループタイトルが記録されていないMDを演奏中にグループタイトルを表示しようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Error 99** : ●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを入れなおしてください。CDが取り出せない、またはCDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
-  (点滅) : ●演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
➡録音されたMDに入れ替えてください。
●MDプレーヤー部が正常に動作していない。
➡MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
-  (点滅) : カセットテーププレーヤーが正常に動作していない。
➡カセットテープを取り出してから、カセットテープを入れなおしてください。

取り付け時のご注意

警告



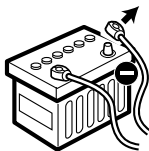
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



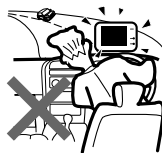
禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

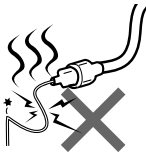


禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

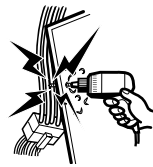
バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

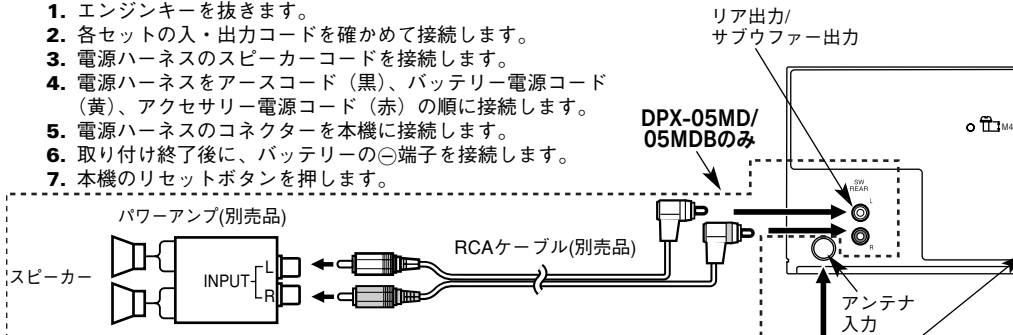
接続



最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。



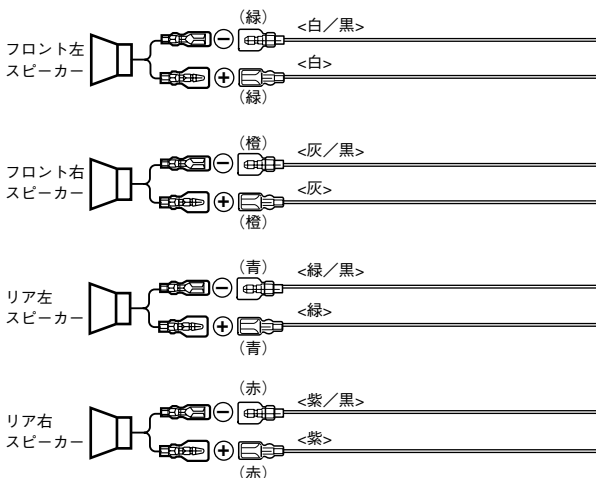
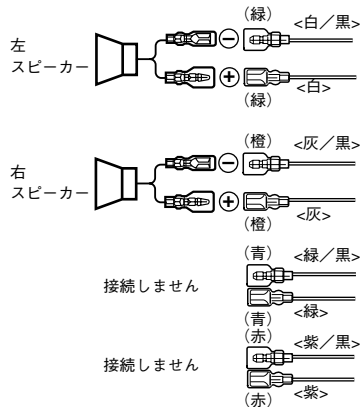
プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、「ファンクションセット」の“SWPRE”項目を“SW”に設定してください。(42ページ)



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

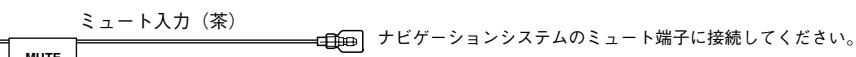
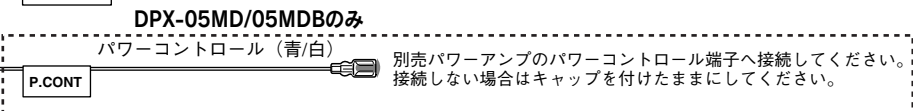
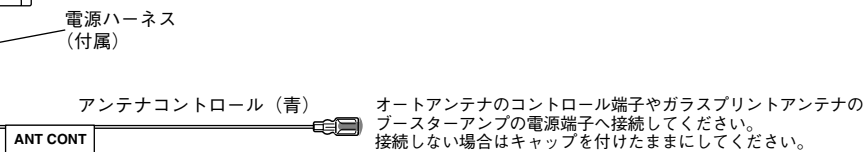
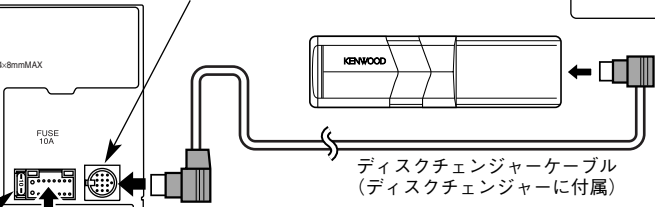


注意

- スピーカーコードの⊕端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

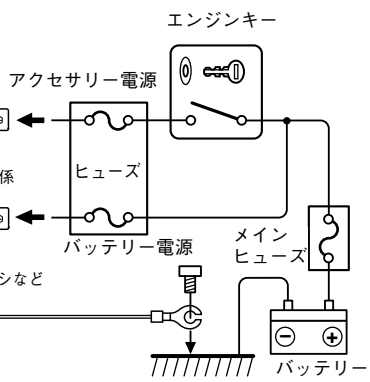
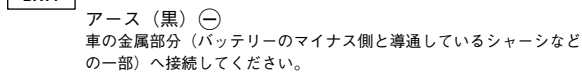
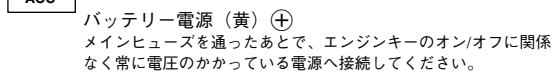
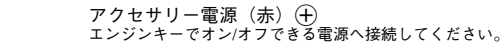
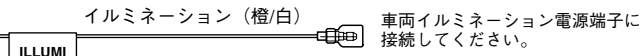
- 別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

ディスクチェンジャー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。



注意

ミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「ファンクションセット」の“NavM”項目を“Off”に設定してください。(42ページ)



取り付け

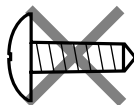
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 6 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

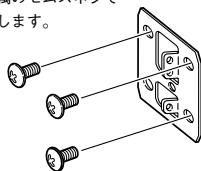
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



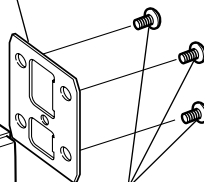
セムスネジ (M4 × 8mm)
(付属)

● 別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



本機

車両ブラケットなど

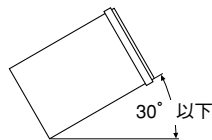


トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
または
サラネジ (M5 × 7mm) (付属)



● 本機の取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。 30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

● 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

DPX-05MD/05MDB

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30dB)	9.3 dBf (0.8 μ V / 75 Ω)
S/N 50dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V / 75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400kHz)	80 dB 以上
ステレオセパレーション	30 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	100 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	450 ~ 950 rpm (線速度一定)
ワウ / フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 10% THD)
プリアウトレベル (FM)	1.8 V / 10 k Ω
プリアウト・インピーダンス	600 Ω 以下

電源部

電源電圧	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量 (重さ)	2.1 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	6本
サラネジ (M5 \times 7mm)	6本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

DPX-04

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30dB)	9.3 dBf (0.8 μ V / 75 Ω)
S/N 50dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V / 75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400kHz)	80 dB 以上
ステレオセパレーション	30 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

カセットテーププレーヤー部

テープスピード	4.76 cm / 秒
ワウ & フラッター	0.1 % (WRMS)
周波数特性 (\pm 3dB)	40 Hz ~ 20 kHz (70 μ s)
ステレオセパレーション	35 dB (1 kHz)
S/N比	50 dB (Dolby B NR off)
	60 dB (Dolby B NR on)

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10% THD)

電源部

電源電圧	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量 (重さ)	2.3 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	6本
サラネジ (M5 \times 7mm)	6本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。